



真剣に取り組むことの大切さ



44日間の夏休みが終わりました。その間、子どもたちが、安心・安全で健康的な夏休みを過ごせるよう、ご家庭でご協力いただき、誠にありがとうございました。子どもたちはお手伝いをたくさんすることができたでしょうか。まだまだ残暑の厳しい日が続きそうですが、1日も早く生活のリズムが整いますよう、引き続きご家庭でのお声がけをお願いいたします。また、日々の健康観察、早めの対応により、子どもたちの心身の健康を学校でも注意深く見守っていきたいと思います。

さて、2学期は大きな学校行事がたくさん予定されています。日常の学習はもちろんのこと、一つひとつの行事や取り組みにおいて「感動」を味わえるように子どもたちを導いていきたいと考えています。なぜなら「感動」は人を成長させるからです。行事や取り組みにおいて感動できるかどうかは、その過程においてどれほど「真剣」であったかに関わってきます。「真剣」とは「心を込めて本気で取り組むこと」です。そのために今、学校では「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す」児童の育成に力を入れています。何事にも「真剣」に取り組む、だからこそ味わえる「感動」と、そこにある「成長」を積み重ねていくことは、子どもたちのこれからの人生にとっても大切なことなのです。

教職員もまた一丸となって「真剣」に教育活動に向き合い、子どもたちと共に「感動」を共有できるよう指導にあたります。保護者のみなさまにおかれましても、今後ともご理解、ご協力、お力添えをいただけますよう、よろしくお願いいたします。

保護者面談では大変お世話になりました

夏季休業中に実施しました保護者面談では、ご多忙の中、また、大変猛暑の中ご協力いただきまして誠にありがとうございました。学校全体に関わることで現時点でお答えできるものに学校通信をお借りいたしましてご回答いたします。



①トラブルがあったりや一人になってしまったりして登下校が心配です。

しっかり班長が面倒を見てくれる班が多い中、うまく機能していない班も見受けられます。学校でも校外児童会を活用し、地区に分かれ、現状を振り返り、困っていることはないか、どうしたらいいか考える機会を設けています。大人が見ていなくても、自分たちで考え、安全に登校、下校してほしい気持ちでいっぱいです。学校としても、登下校時の様子を見守り、課題が見られる時にはすぐに対応しています。しかし安全な登下校については、学校からの働きかけだけでは限界があります。ご家庭でも登下校について、話題にさせていただき、安全・安心に登下校できるよう働きかけをお願いいたします。また、ボランティアで付き添いをしていただいている方も多く見られます。学校に力を貸していただける方がおりましたら積極的に子どもたちの見守りをお願いいたします。

②学校と町のLINEがいっしょのため学校の重要なお知らせを見逃してしまいます。

今年度より町の公式LINEのシステムを利用して学校の連絡を行うようにいたしました。このことにより今まで実施できなかったPDFの添付ができるようになりました。現状、町のシステムを利用することでしかPDFの送付ができない状態ですのでご不便をおかけいたしますが何卒ご理解をお願いいたします。

③運動会の駐車場について今年はどうなるのか教えてください。

今年は南校舎長寿命化工事により南校庭分の駐車スペースが使用できなくなりました。そこで近隣に駐車スペースを確保できるよう準備を進めております。それでも十分なスペースの確保が難しい場合がありますので、徒歩や自転車の利用、一家庭一台のご協力をお願いいたします。詳細は、PTA実行委員会後に連絡いたします。

